

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 13:30~くらしの植物苑東屋

第105回 12月15日(土)

『サザンカの世界』 箱田直紀 恵泉女学園大学 名誉教授

第106回 1月26日(土)

『炭と植物』 吉村郊子 本館研究部歴史研究系

今週のみどころ <http://www.rekihaku.ac.jp> 毎週木曜日更新

『冬の華・サザンカ』展が開催中です。

15日(土)はサザンカの箱田直紀先生による「サザンカの世界」の観察会が、くらしの植物苑東屋で13:30から開かれます。明治期における佐倉とサザンカのかかわりを中心に、実際に咲いているサザンカを見ながらお話しをさせていただきます。

サザンカ群



朝日鶴：白地に紅ぼかし、弁数の多い一重咲き。



丁子車：淡紅色のぼかし、一重の唐子咲き。



揚羽の蝶：白地に紅ぼかし、弁数の多い一重咲き。1905年の「茶梅花名鑑」に記載がある。

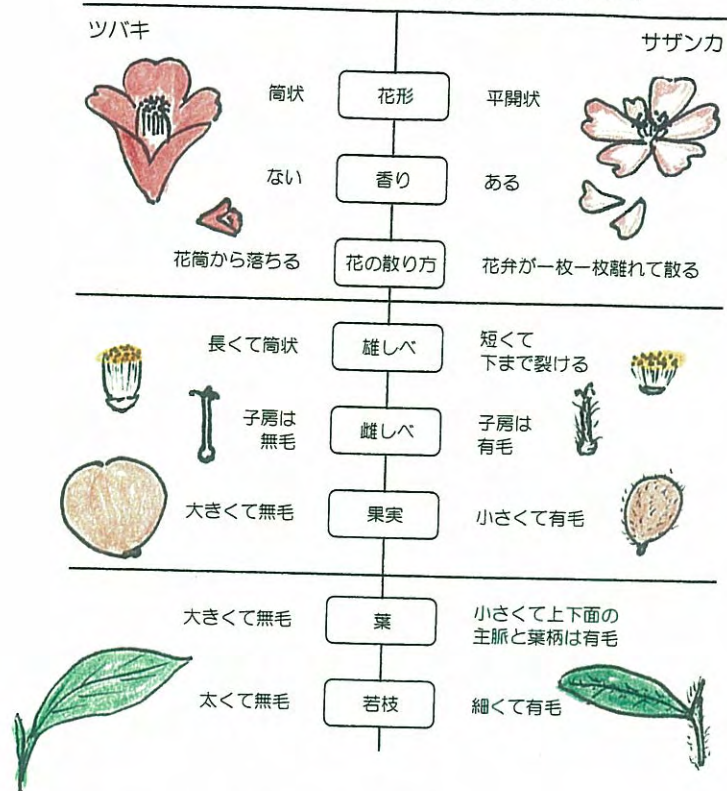


金花山：淡桃色、一重咲き、雄ずい先端が弁化して小花弁になる。1885年の「日涉園茶梅譜」に記載がある。



三頭咲：桃色、1つのつぼみから1~3花を開く。3つの花が咲いています。

ツバキとサザンカの見分け方のポイント



東京農工大学のサザンカ 箱田直紀よりトレース

サカキ (ツバキ科サカキ属)

枝を神事に用いる常緑小高木です。鎌みたいに見えるものは、実は冬芽は若い葉身が内に巻いているものです。果実は球形で黒色に熟します。



イヌツゲ (モチノキ科モチノキ属)

各地の山野にみられる常緑低木です。庭木や盆栽によく栽培されています。関東・中部地方などでは小正月に枝に繭玉をさしたりします。樹皮からもちがとれます。



サワフタギ (ハイノキ科ハイノキ属)

湿ったところに多い落葉低木で、別名ニシゴリといいます。これは木灰を紫根染めの媒染剤としたことからきています。花は5月のはじめに咲きました。

